

◇ 鹿嶋市立小中学校 不祥事根絶・サービス規律確保のために ◇

鹿嶋市立小中学校すべての教職員は、子どもたちや保護者、地域の皆様からの信頼を失うことのないよう、法令・社会の規範やルールを遵守し、強い使命感と高い倫理観をもって職務を遂行し、「**チーム鹿嶋**」で、不祥事の根絶とサービス規律の確保に努めます。

『鹿嶋 PRIDE』

か：かがやく笑顔あふれる 子どもたちのために
し：信頼される教職員として、一人一人が自分事ととらえ
ま：守ります コンプライアンス 人権

◎ 不祥事根絶に向けた取組

1 教職員一人一人が自分事として捉える計画的なコンプライアンス研修を行います

- 全職員が輪番制で担当するボトムアップ型研修（月2～3回）と通知・通達等の伝達を行うトップダウン型を組み合わせた研修（講義、動画視聴、事例検討、グループ協議、ロールプレイング等）

・飲酒、酒気帯び運転 ・個人情報の漏えい、紛失、盗難の未然防止 ・体罰や人権に配慮のない言動
・わいせつ、盗撮、パワハラ、セクハラ等 ・学校徴収金の横領、不正処理 ・パソコンの不適正利用
・情報モラルと著作権 ・交通法令違反 ・性的マイノリティとLGBT
・信用失墜行為 ・懲戒処分について ・アンガーマネジメント（研修計画のHPへの掲載と実施後の確実な報告）

2 風通しの良い職場環境づくりに努めます

- 相談体制の充実（管理職・同僚・外部機関）
- 職員の同僚性の育成と、ともに成長できる「チーム学校」意識の醸成
- メンタルヘルス研修やストレスチェックの実施
- 心のゆとりを育む働き方改革（時間外勤務の縮減と業務の効率化）の一層の推進
- 「たいせつです」運動の推進

た ：助け合う	（チーム対応）
い ：労り合う	（ミスを責めない）
せ ：成長し合う	（研鑽を積む）
つ ：付き合う	（とことん）
で ：伝達し合う	（報告・連絡・相談・確認）
す ：全ては生徒達のために	（All for students）

3 早期発見・早期対応に努めます

- 不祥事防止のためのチェックリストの定期的な実施と管理職による面談
- 自分や自校での発生リスクを想定した具体的対応策の検討
- 校内の安全点検や日常の見回り体制の充実



【大野中学校の取組】～ チーム大野は「しない・させない・許さない」～

- 体罰や配慮のない言動は決して行わず、子供の人権を尊重します。
- おかしいなと感じたら、すぐにみんなで相談します。
- 公私を問わず酒席で飲酒する際は、家族の送迎によるなどして、車での参加を控えます。
- やむを得ず車で酒席会場に行き、飲酒をする際は、開始前に代行等を確保します。
- 管理職又は会の代表者は、飲酒した職員を最後まで見届けます。
- 教室や体育館、更衣室、トイレ等の校内の施設は、整理整頓に努め、日常から安全点検を行うなど、盗撮等の防止の徹底を図ります。
- 諸費の管理は複数人で行い、適切な監査を行います。
- 原則として現金は扱わず、管理職監督の下、適切に処理します。
- 個人情報（文書、データ等）の持ち出しは原則行わず、必要性から個人情報を持ち出す場合は必ず管理職の許可を得て、管理を徹底します。公私の区別を付け、適切に取り扱います。
- 交通法規を遵守し、心と時間にゆとりをもった安全運転をします。
- 自分の運転を過信せず、かもしれない運転を心掛けます。